

われそくかみなり
我即神也の印について

西園寺昌美

私は、一九九四年富士聖地において、宇宙神より我即神也の印をこの地上界に降ろすことに成功した。そしてその時、宇宙神より「印」とは宇宙の法則にのっとった科学的な方法であると教えられた。科学的というからには当然、その物質的基礎あるいは物理的因子についてある程度、明らかにされていなければならない。だが、私は科学者ではないので、その科学的証明をなし得ないが、いずれごく近い将来、科学者たちによってはつきりと証明されるであろうことを確信している。

“印”は現代科学の範疇に入らないまったく新しい、宇宙法則にのっとった方法であるため、今の段階では実際に印を組む人たちによって現実に証明してゆくことが大きなことと言えよう。“我即神也の印”を組む以前と組んだ後との差がはつきりと証明されればよいわけである。印を組む以前は身体の調子や精神的、そして運命的によくなかった状態が、印を組んだ後にはつきりと善いほうへと改善されてゆけば、その違いが誰にでもわかる。身体も精神も運氣も見違えて

善なる方向に一変させてしまうのである。

生命エネルギーは、我々人体の中に絶え間なく流動、循環しつつ生命を維持している働きのエネルギーであるが、この生命エネルギーも人によってはその差が著しく異なる。

・我即神也の印”は科学的な方法によって宇宙エネルギーと交流できる唯一の道である。“印”を組む時、両手の角度、方位方角、視線、手が描く直線・曲線・放物線、呼吸等がミックスされ一つの型を形づくってゆく。その印を組む流れによって波動が生じ、その波動が宇宙の無限なるエネルギー波動と合流する。我々の体内からは通常誰でもほんの僅かではあるが、磁気、静電気、音波、電磁波、放射線等を放出している。それら物理的因子は印の流れ（宇宙の法則）に従って宇宙根源なる無限なるエネルギーを自分の体内に流入させ、その力を大いに増してゆく。いわゆる超越的エネルギーと化してゆくのである。

それによって自分の肉体、意識、生理状態、感情をコントロールすることが出来るようになる。マイナスの部分ですべてプラスに変換させる働きがあるのである。かつまた、自分だけではなく、他人の生理状態、意識、感情、病氣、運氣等に対して客観的な変化を引き起こすことも出来るのである。この“我即神也の印”を組むところ、その周りの気がすべ

るようになっていく。明らかによくなってゆく。変化してゆく。気分が明るくなってゆく。病気が自然に癒されてゆく。事故がなくなる。失敗がなくなる。何においても自信がついてくる……。これらのことは今までの例で明らかかなことである。

だがしかし“何故”と問われた時、未知の現象を説明する時と同様、科学的な答えに窮してしまふ。次元の異なる神秘なる宇宙根源のエネルギーが体内に存在している生命エネルギーと合体し、まったく新たな超越的エネルギーに変換されてゆくのである。

であるから、今までは自分自身の生命エネルギーだけではうまくゆかなかつたいかなる運氣も病氣も仕事も、印を組む宇宙根源なるエネルギーを取り入れることによって、単なる生命を維持するだけの働きであった生命エネルギーが何らかの科学的变化によって力を増し、超越的エネルギーに変換され、その偉大なる強力なる超越的な働きによってすべての壁を覆し、今まで決して変えることが出来なかつた状況をすべて

て変化する。空気、大地、海、河、山、動植物、そして人間、生きとし生けるもの、あらゆるいっさいのものが生き生きと輝いてくる。澄み浄まつた新鮮な空気、水、大地となって再びこの地球によみがえることになる。この“我即神也の印”の科学的証明が為されることが待たれるのであるが、我々は先ず、その証明に先駆けて印を組みつけているのである。確かにあちらでもこちらでも印を組むところに素晴らしい変化が生じている。人間の本来の姿、神そのものの力を改めて見せられたような気がする。我々は神と同様、何事も為せばなる。という存在者だったのである。だがいつの間にか、何事を為してもならん。という状態に変わっていつてしまった。だがしかし、真理に目覚めた人たち、そして目覚めつつある人たちによって、また再び人間本来神なり、“我即神也”の意識がよみがえり、人類に意識革命が広がりがつつあるのである。

あなたも“我即神也の印”を組んでみませんか。正しく組むことによって必ず何らかの素晴らしい効果が現われるはず

です。この印こそ、人類一人一人を真理に目覚めさせる、宇宙の法則にのっとった究極の方法なのである。